

2003年11月の日本の天候

高温・多雨・寡照 (東日本・西日本)

11月の天気概況

月を通して、低気圧と高気圧が交互に通り天気は概ね数日の周期で変わった。低気圧通過後には一時的に寒気が入ったものの長続きせず、低気圧の前面や南の高気圧に沿って暖かい湿った空気が入りやすかったため、全国的に極端な高温となった。一方、低気圧が頻繁に通過したことや南岸の前線の影響などを受けやすかったことから、東・西日本太平洋側を中心に降水量が多く、また寡照傾向となった。

上旬：日本付近には寒気が入りやすく全国的に気温は高くなった。北日本や東日本日本海側では天気は数日の周期で変化したが比較的高気圧に覆われやすく少雨傾向となった。一方、東日本太平洋側から西日本は低気圧や前線の影響を受けやすく多雨・寡照傾向となった。また、旬はじめに台風19号が台湾付近を北上したが、急速に弱まったため南西諸島には大きな影響はなかった。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、北日本と東日本日本海側で少なかった他は多かった。**旬日照時間**は、北日本で平年並、その他は少なかった。

中旬：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。11日、15日～16日、20日頃に低気圧が通過した。15日～16日の深い気圧の谷の通過後には西高東低の冬の気圧配置となり東京地方では17日に木枯らし1号が吹いたが昨年よりは15日遅かった。また、旬はじめに北日本中心に一時寒気が入ったが長続きせず全国的に気温が高くなった。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側で少なく、東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった他は平年並だった。**旬日照時間**は、北・東日本日本海側で多く、南西諸島で少なかった他は平年並だった。

下旬：低気圧と高気圧が交互に通り、天気は概ね数日の周期で変化した。21日頃と24日～25日、27日～30日にかけて低気圧が通過した。27日～30日にかけての低気圧は動きが遅く、一方で台風21号が日本の南海上をゆっくり北上したため、太平洋側を中心に天気がぐずつき降水量も多くなった。また、北からの寒気は弱く引き続き全国的に気温が高く経過した。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、南西諸島で平年並であった他は多かった。**旬日照時間**は、北日本日本海側で平年並であった他は少なかった。

11月の気候統計

平均気温：全国で平年を上回った。特に東日本、西日本、南西諸島では平年を2℃以上上回り、九州では平年を3℃以上上回ったところがあった。11月としては記録的な高温となり、全国150の観測地点のうち東日本、西日本、南西諸島の86の地点で11月の平均気温の

最高値を更新し、2地点でタイ記録となった。

降水量：北日本と東日本の日本海側で平年を下回ったほかは、平年を上回ったところが多かった。尾鷲(三重県)では、11月の月降水量が1049.5mm(平年値:261.9mm, 平年比:401%)となるなど、18地点で月降水量の最大値を更新した。また、岩見沢(北海道)では月降水量の最小値を更新した。

日照時間：北日本で平年を上回ったほかは、全国で平年を下回った。大島、八丈島(以上東京都)、四日市、尾鷲(以上三重県)、奈良(奈良県)、名護(沖縄県)の6地点で11月の日照時間の最小値を記録した。

(気象庁観測部統計室)

11月の記録(1位更新のみ)

・月平均気温の高い方から(℃)

長野 10.1 熊谷 13.1 名古屋 14.5

大阪 15.5 福岡 16.1 熊本 16.3

都城 16.5 など86地点、タイ記録2地点

・月降水量多いほうから(mm)

高山 225.0 三島 283.0 尾鷲 1049.5

館山 473.5 大島 597.0 阿久根 245.5

宿毛 587.5 清水 416.5

室戸岬 495.0 など18地点

・月降水量の少ない方から

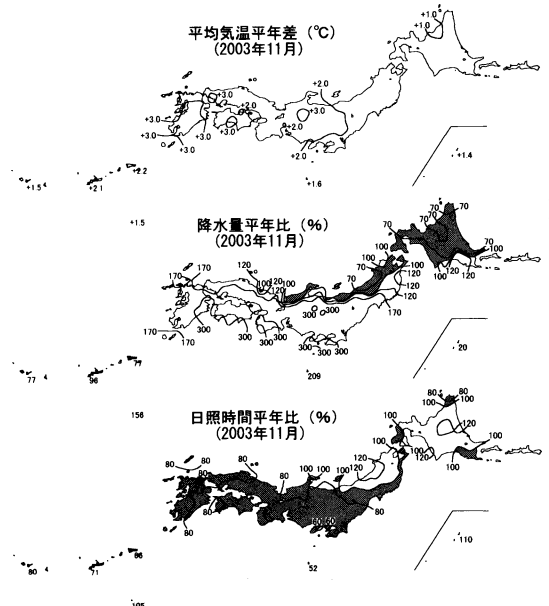
岩見沢 48.5

・月間日照時間少ない方から(時間)

尾鷲 101.3 大島 90.5 八丈島 54.1

四日市 107.3 奈良 97.7 名護 74.5

2003年11月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す